

腋窩多汗症（脇汗）

Q：多汗症とは？

体温上昇時に汗をかいて体温を一定に保つように人体は出来ています。この汗が「病的に多い」状態を「多汗症」と呼びます。

なお「病的」というのは相対的な問題であります。例えば半裸で水辺に住んですぐ魚を取りに潜る生活でしたらすごく汗が多くても困らないですが、現代の日本なりの生活をしていると流れるように汗をかく・脇に汗染みが出来流・特にベージュやライトグレーの服が着られない・匂いが気になる・服がすぐ黄ばむなどはかなり鬱陶しいということになります。一般論としては出来るだけリラックスして生活するや通気性の良い衣服を着るなどのアドバイスがされてきました。軽いものなら市販の制汗スプレーでもある程度改善感あったりもします。また皮膚科などで塩化アルミニウム含有のクリーム・ローション処方もよくされてきました。

多汗症には全身の汗が増加する全身性多汗症と、手のひら・脇など体の一部に汗が増える局所性多汗症があります。

Q：普通の汗と違うのですか？

汗の成分自体は一緒です。

Q：怖い病気が隠れていないか心配です

多汗症は若い時から汗が多かったという原発性多汗症（他に原因となる病気がない）と他の病気が原因で汗が過剰に出る二次性多汗症にも別れます。若い時はなかったのに急に汗が多くなったと言う場合は二次性多汗症として甲状腺をはじめとする内分泌疾患や心臓疾患や脳神経の病気を調べる必要があるかもしれません。なお脇・手掌などの原発性多汗症は意外と多く人口の5%と言われています。

Q：脇汗がひどいのでなんとかしたいです

ひどい脇汗（腋窩多汗症）についてはボツリヌス製剤（ボトックス®）が保険適応されています。脇に20箇所くらいツベルクリン検査時のような皮内注射をして汗の分泌をブロックします。当院でも実施していますが有効性はかなり高く、また腋臭（わきが）があればそれも匂わなくなったと喜ばれています。ただ注射の効果は減弱していきますので4ヶ月〜1年くらい毎に再注射が必要で各回保険3割負担だと自己負担額は約2万円前後になります（2026年現在）

Q：手のひらの汗が多いですがなんとかありませんか？

手掌の汗についても原理的にはボツリヌス注射は有効なのですが手掌への注射はとても痛くて現実的であまりないです。また注射の保険適応も通っておりませんが塗布剤（アボハイド®）なら保険適応されていて一定の効果があります。当院でも処方することあります。

Q：以前は私費でボトックス注射していましたが違いは？

私費診療の場合でも正規品（いわゆるアラガンのボトックス）が使われることもあります。手技量が高い場合は某国製格安ボツリヌス毒素が使われることも多いようです。保険診療だと原理的に GSK 社よりの正規品（アラガンのボトックス®）を 1 本の全量注射することになるのでそちらの方が実は質は担保されてると言えます。